

Social Business

社会的起業体験

留学・大学入試でも

アピールできる！

2020年にむけて

「いま」

イベント等を企画・実行し「企画力」「創造力」

「社会参画・社会貢献力」

「コミュニケーション力」を身に付けるプログラムです。

きみが
できる人

BumB

絵：東京都立晴海総合高等学校
美術部 森島彩音、西坂汐織

全11回

平成30年度
高校生世代チャレンジプログラム

期間 2018年11月から2019年2月

対象 高校生世代またはそれに準じる年齢の個人又は団体

定員 20名

参加費 無料

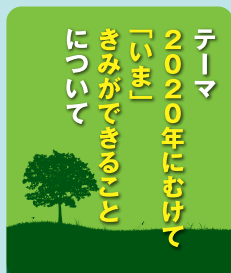
主催 東京都教育委員会
東京スポーツ文化館 BumB
<http://www.ys-tokyobay.co.jp/social/>
申込方法・詳細はHPまたはQRコードより



平成30年度 高校生世代チャレンジプログラム 募集要項



本プログラムは、社会課題への取組や社会貢献活動などを高校生世代自らが立案、計画、実施まで一連の取組を全て行うことで、コミュニケーション能力、問題解決力、主体性、協調性などの「生きる力」を身につけることを目的としています。平成30年度は、「2020年に向けて「いま」きみができること」をテーマに実施します。



1964年「東京オリンピック競技大会」は、日本が戦後の復興を遂げ高度経済成長期の未来を切り開く大きな変革の時でした。2020年「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」は、バブル崩壊後からのいわゆる失われた20年という経済低迷期、そして未曾有の東日本大震災からの復興過程の中で、新しい出発点として「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」、「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、「そして、未来につなげよう(未来への継承)」を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とすることを目的に開催されます。

本年度のテーマ「2020年に向けて「いま」きみができること」は、この3つの基本コンセプトに沿って2020年に向けて、未来を担う高校生世代が「いま」互いを認め合い、未来につなげるために、ベストを尽くしてできることは何か、何をすべきなのかを考えてイベントなどを企画し、活動計画や資金計画を作成し、自ら実施し体験していただきます。

募集定員・対象者

募集定員：20名

対象者

- 高校生世代またはそれに準じる年齢の個人又は団体。
(団体とは、学校の部活・サークル・友人等の構成員が3名以上の団体を言います。団体での応募は、当該団体の代表者3名での申込とします。)
- 東京スポーツ文化館での受講と都内での活動が可能なこと。
- 受講・活動期間中、積極的かつ主体的に活動に取り組めること。
- 受講・活動報告写真を東京スポーツ文化館HPでの公開に同意すること。
- 各個人にて参加への抱負や意気込みを提出すること。
- 参加について保護者の同意を得ること。

参加費等

参加費無料。弁当持参。交通費、通信費等は自己負担。

参加申込・締め切り

東京スポーツ文化館ホームページの高校生世代チャレンジプログラムのエントリーフォームから申込、または同ホームページより申込書をダウンロードし、郵便、FAX、E-mailで

- 氏名(ふりがな)、性別、学校・団体名、学年・年齢
- 〒住所
- 電話番号(日中連絡がとれるもの)
- E-mailアドレス
- 参加への抱負や意気込み

を明記の上、東京スポーツ文化館まで。

【締め切り 2018年10月21日(日) 必着】

なお、申し込み多数の場合は、(5)の参加への抱負や意気込みを拝見して意欲の高い方を選びます。

賞状

大賞

審査員が、活動報告会の各グループのプレゼンテーションを聞き「企画力」「創造力」「社会参画・社会貢献力」「コミュニケーション力」の4つの項目で審査を行い最も高い評価を得たグループに授与される賞。

金賞

講師及び東京スポーツ文化館担当者が、企画・実行の段階で「社会的に貢献度が高い企画か」「プロジェクトの効果的・効率的計画」「各メンバーの熱い情熱」「前向きな思考で問題解決に取り組む姿勢」の4つの項目で審査を行い最も高い評価を得たグループに授与される賞。

来場者賞

来場者が、活動報告会に各グループのプレゼンテーションを聞き、主観で審査を行い、最も高い評価を得たグループに授与される賞。

スケジュール・主な活動内容

実施予定(全11回) 各回10:00~16:00

- 11月 4日(日) 開講式／オリエンテーション
- 11月 11日(日) 企画検討／ワークショップ
- 11月 18日(日) 企画検討・準備／フィールドワーク
- 12月 2日(日) 企画準備
- 12月 16日(日) 企画準備／中間報告
- ⑥-⑦ 1月 6日(日)~21日(月)

企画の実行(準備1日、実行2日・成人の日の連休を想定)

- 1月 27日(日) レポート作成／プレゼンリハ・レクチャ・修正
 - 2月 3日(日) レポート作成／プレゼン練習・修正
 - 2月 10日(日) 活動報告会準備
 - 2月 17日(日) 活動報告会(プレゼンテーション)／閉講式
- 上記日程以外にも、グループで自主的に活動する場合もある。

◎受講・活動場所

東京スポーツ文化館 研修ルーム他

講師・審査員

講師・企画・実施協力

◎NPO法人Curiosity(理事長:小川智康氏)

平成26年度より高校生起業体験プログラム「まじプロ」を開催。「まじプロ」では、高校生世代が、自ら関心のある社会課題に関するイベントなどの立案・実行にチャレンジすることで社会での自立に向けたリアルな経験の場を提供。

活動報告会審査員

◎金森 俊一氏(認定NPO法人カタリバ/コラボ・スクール大槌臨学舎 校長)

平成13年に設立したNPOで、高校生へのキャリア学習プログラム「カタリ場」や被災地の放課後学校「コラボ・スクール」の他、社会課題の変化に伴い、中高生の秘密基地「b-lab」、高校生が地域の課題に取り組む「マイプロジェクト」など多数の事業を実施。

◎竹田 和弘氏(一般社団法人ウィルドア共同代表理事)

平成27年にウィルドアを設立。キャリア教育コーディネーターとして、主に高校向けのキャリア教育事業を多数実施。行政や学校等との連携実績も数多くあるとともに、キャリア教育の現場での実践者として活動。

◎森元 憲介氏(東京証券取引所・大阪取引所 金融リテラシーサポート部 課長)

日本取引所グループの金融経済教育活動として、全国の中高や大学等で業界研究・会社研究の講義を多数実施。株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする起業教育イベントを実施。起業体験・経済教育分野の実践者。

◎東京都教育庁及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会にかかる東京都行政機関より各1名。

お問合せ

BumB 東京スポーツ文化館



TEL : 03-3521-7323 FAX : 03-3521-3506
E-mail : bumb@partners1.co.jp
http://www.ys-tokyobay.co.jp/social/

〒136-0081 東京都江東区夢の島2-1-3